

(シラバスNo.4)

科目名	学級経営・学校経営特論	科目コード	24P-S2	
		科目群名	基幹科目	
	Advanced Seminar on Class and School Management	必修/選択	選択	
		教職	小・中・高	
担当教員	三宅 一彦	単位数	2	

【授業概要】

「学級」「学校」等（以下「学びの場」）の運営に係る今日的な課題をとらえ、個々の学びを支える相互関係の形成と教育組織の運営について論究するとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の観点から、「学びに向かう集団」を育む構想をもつことができるようにする。

【授業の到達目標】

- 1 学びの場における相互関係のあり方を考察し、学びに向かう集団の構築と維持・向上に求められる知識・技能、実践力を身に付ける。
- 2 教育組織の構造と運営について理解するとともに、集団を基盤とする教育の意義を考察し、自立と成熟の基盤となる相互関係形成の構想を立案することができる。
- 3 教育ビジョンの実現をめざす組織マネジメントの課題をとらえ、経営参画の実践力を身に付ける。

【授業の形態】

メディア授業の実施【あり】

<授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	◎	・各回のテーマに関する基礎的な内容及び実践例 ・学級等「学びの場」における現状と課題、 ・教育組織の構造と運営
グループワーク・質疑	◎	・各回のテーマに係る課題や実践事例についての議論
演習	○	・指定した論文に関する議論
プレゼンテーション	○	・所属校における目指す教育と組織運営の構想
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	「学びの場」の現状と課題－教育観学習観の転換と「集団」で学ぶ意義－
2	「学びの場」構築の諸課題－教育組織の構造と運営
3	「学びの場」の構造－相互行為システムとしての学び－
4	「学びの場」の組織と運営－「個別的側面（個性化）」と「規範的側面（社会化）」－
5	学びに向かう「相互関係」の形成－集団における規範と実践－
6	「与えられた集団」から「自分たちの集団」へ－学びに向かう集団の形成－
7	教育活動における「個業」と「協働」－教育の目標と教育観・教育方法－
8	教育組織の特性と運営－「組織文化」と組織運営の課題－
9	教育課題と組織マネジメント－「個業」と「協働」をつなぐ－
10	組織運営のPDCAサイクル－組織運営の課題と自己評価－
11	「チームとしての学校」にみる組織運営－「多職種協働」の可能性－
12	教育組織運営の実際－組織運営の実践例－

13	学校運営の新しい形 —「コミュニティスクール」の構想と実際—
14	目指す教育と組織運営の構想 —教育構想のプレゼンテーション—
15	教育組織運営のパラダイムを探る—「個別最適な学び」と「協働的な学び」の「一体的充実」の可能性を探る
試験	
<p>【履修上にあたっての準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級(ホームルーム)、自身が担当する教育組織や教育の場における、学習者の学びや相互関係に係る問題点について考える。 ・所属する学校現場(或いは、教育の場)の組織運営について、どのような課題があるか、職務上の観点から考える。 	
<p>【授業外学修(予習・復習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習:第2回以降は各回ごとに、テーマに関連する論文やデータを配布します。指定の箇所を参照の上、テーマに関する論点について考えをまとめておいてください。 ・復習:各回ごとに振り返りシートに記入します。シートは授業後3日以内に提出してください。必要に応じて関連する内容を次回以降で取り上げます。 ・目指す教育と組織運営の構想を第14回で発表予定です。 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で課す発表及び振り返りやレポート(50%)、科目修得試験(50%) 	
<p>【教科書】</p> <p>教科書は特に指定しない。各回のレジュメ及び必要に応じてテーマに関する参考論文を配布する。</p>	
<p>【参考図書】</p> <p>浜田博文(2012)『学校を変える新しい力』小学館(Kindle版) ISBN 9784098401260 白松賢(2017)『学級経営の教科書』東洋館出版社 ISBN 9784491033419 蓮尾直美・安藤知子編(2013)『学級の社会学・これからの組織経営のために』ナカニシヤ出版 ISBN 9784779507694 日本教育経営学会編(2018)『現代教育改革と教育経営』学文社 ISBN 9784762028113 中教審答申(2021)『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)』 石井英真(2023)『終焉に向かう「教育」改革?—公教育の融解か学習権保障の再構築か—』『教育学年報14 公教育を問い直す』世織書房 中教審教育課程企画特別部会(2025)「論点整理」(ポイント資料:詳細版) 学習指導要領及び解説(小学校・中学校・高等学校):文部科学省</p>	